

# 風を見たかい!

## あらすじ



9月1日の朝、夏休みを終えた子どもたちは久しぶりにクラスメイトと会って興奮気味。宿題の絵を見せあうことになりませんが、ナオトの絵を見てみんなびっくり。そこに描かれていたのは、空を渡るカラフルな風。「風に色なんてないよ!」というみんなの言葉に、今度はナオトがびっくり。ナオトには風が彩り豊かに見えるのです。僕ってヘンなのかな・・・と不安になるナオト。そこへ赤髪の転校生:サブリーナがやってきて、まるで『風の又三郎』のような立ち振る舞いに教室はざわめきます。実はサブリーナは風を自在に操るチカラを持っていたのです。やがて街を襲う事件にナオトと立ち向かうことに!

## 出演



児玉しし丸  
(劇団うりんこ)



牧野和彦  
(劇団うりんこ)



藤本伸江  
(劇団うりんこ)



山内まどか  
(劇団うりんこ)



長谷川南  
(劇団うりんこ)



元山未奈美  
(演劇組織KIMYO)

宮沢賢治\*の名作『風の又三郎』を長久手在住の劇作家/演出家=刈馬カオスと、愛知を代表する児童劇団=劇団うりんこがジョイントフェスのために舞台化。風の色が見える自分はヘンだと思ふ少年ナオトと、風を起こす不思議な転校生サブリーナが織りなす奇妙なひと夏の思い出を描きます。他者との出会いを通して「自分とは違う誰か」「誰かとは違う自分」を発見していく子どもたち。五感を刺激する躍動感あふれる演出が舞台をいっそう盛り上げます。誰にでもひそんでいる「新しい自分」を見つけに来てください。

★宮沢賢治・・・今から約120年前の1896年、岩手県稗貫郡花巻町に商家の長男として誕生。子どもの頃は家族から“石コ賢さん”と呼ばれるほど石や昆虫が大好きでした。農学校に勤めながら童話や詩を書き始め、約100編の童話や400編あまりの詩を残します。とても情熱的な先生で、学生たちと一緒に自作の歌やお芝居を発表したりしました。急性肺炎により37歳という若さでこの世を去りますが「銀河鉄道の夜」「注文の多い料理店」「風の又三郎」など生き活きとしたお話しをたくさん残した、日本を代表する童話作家のひとりです。

## 脚本・演出



刈馬カオス(刈馬演劇設計社)

近畿大学文芸学部芸術学科演劇・芸能専攻卒業。  
16歳より演劇を始めて、劇団「青年団」での俳優活動を経て、劇作の道へ進む。近年では『長久手人物語～ナガクテビトモノガタリ～』(第31回国民文化祭/長久手市)、『見上げれば、いつも満月～新美南吉「ごんぎつね」より～』(名古屋市文化振興事業団)等を手掛けた。愛知淑徳大学創造表現学部非常勤講師。平成27年度愛知県芸術文化選奨・文化新人賞。名古屋市民芸術祭2015芸術祭賞(大賞)。

## 公演日程・問合せ先

8/19  
(日)

14:00/豊川市御津文化会館(ハートフルホール)  
☎0533-84-8411(問合せ:豊川市文化会館)

8/25  
(土)

14:00/名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)中ホール  
☎0587-24-5111

9/15  
(土)

14:00/西尾市文化会館 小ホール  
☎0563-56-6660(問合せ:西尾市文化事業実行委員会)

9/17  
(月・祝)

14:00/長久手市文化の家 風のホール  
☎0561-61-3411

## 名古屋文理大学文化フォーラム (稲沢市民会館)

〒492-8145 稲沢市正明寺三丁目 114 番地

TEL:0587-24-5111

<HP> <http://www.city.inazawa.aichi.jp/ica/>

名鉄国府宮駅より徒歩 15 分

※駐車場約 500 台。乗り合わせ来館にご協力ください。

問合せ先:名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館) 0587-24-5111

